

水産業強化支援事業事後評価結果

		長崎県水産部水産経営課
政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	経営構造改善目標	30-4
事業実施主体	箱崎漁業協同組合	
実施地区名	壱岐市箱崎地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成30年度	令和3年度
交付金額	17,248千円	
事業計画の内容	漁獲物鮮度保持施設 製氷機（生産5.5t/日） 2基 内部防音	
評価	成果目標	アジの販売単価の向上
	現状値	502円/kg（令和3年度末時点）
	目標値	762円/kg（令和3年度末）
	（1）現状値の説明	アジの水氷価格については、殺菌海水との併用で実施したが、市場や仲買への周知活動や売り込みを行うことが出来ず、評価が不十分であったことは否めない。また、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症による魚価の低迷が影響し、十分な成果を得ることが出来なかった。
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）	電気料金が安価な夜間時間帯に製造することで、製造原価を抑え、販売価格の軽減に努めたことで、地域漁業者の漁業経費を削減することができ、結果として地域への経済効果の波及が図れた。
	（3）所見	電気料金を抑えることで、各漁業者へ提供する氷販売について価格を抑え地域漁業者への波及効果を生み出すことが出来た。殺菌海水との併用で水氷出荷を実施して、魚価の向上に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響で魚価単価の低迷に悩まされた。
	（4）評価機関への意見等	様々な要因が重なり目標値を達成することが出来なかったが、壱岐市、箱崎漁協と共同で目標達成に向けた協議検討を行っていく。
	今後の改善方向等に関する分析	新型コロナウイルスの終息とともに、水氷出荷の評価を高めるため自粛していた各魚市場及び仲買業者との意見交換や現地視察を再開し、魚価単価向上を図ることで、地域漁業者の出漁意欲向上に努める。